

# 第8学年 英語科学習指導案

## 1 単元名

Presentation 2 「町紹介」 NEW HORIZON English Course 2

## 2 単元計画

時	ねらい	学習内容・学習活動・指導上の留意点	I C T
1	東京オリンピック・パラリンピックに訪れる外国人観光客に向けて東京を紹介するため、「東京の魅力」を決める。	・教科書のモデル文を読み、東京の名所や東京で行われるイベント・祭りなどについて調べ自分のテーマを決める。 “Welcome to Tokyo”の「東京インフォメーション」も参考にする。	◎タブレットパソコン ・プレゼンテーションソフト ・インターネット  
2 ・ 3	自分が決めた「東京の魅力」について調べて、10文以上の英語でまとめる。	・インターネットや書籍を使ってテーマについて調べ、ワークシートに10文以上の英語でまとめる。	◎CDプレイヤー(全体で1台)
4	発表用スライドを作成する。	・調べた内容の絵や写真を加えながら、4枚程度のスライドにまとめる。	
5	発表に向けてリハーサルをする。	・モデル発表を見て、伝わりやすいポイントはどこか生徒に意見を出させる。 3つのポイント（声量、発音、アイコンタクト）を意識してリハーサルをする。	
6(本時)	「東京の魅力」を発表する。	・調べたテーマについて発表する。	

## 3 「小中一貫教育」を通して、具体化する視点

### (1) 指導内容の「系統性」

小学校では、授業において、明確に「場面（状況）設定」を行うことが大事である。本単元の場合、丁寧な表現であるため、「ハンバーガーショップ」と「レストラン」を場面として設定し、定員と客とのやり取りに取り組ませた。小学校では、英文を日本語に訳すのではなく、教師がALTなどと共に英語でのやり取りを実際に見せ、音声で理解させていく。また、中学校でも学習内容の中に食事の「場面」があり、小学校で学習した表現が繰り返し使われている。そして、小学校で音声中心に学習した表現を、中学校では文法的な側面から文字を使って学習し、表現の理解をより深める。そしてさらに学年に応じた表現を付け加えることによってより発展的で実用的な表現にしていく。

### (2) 指導法の「連続性」

小学校外国語活動で使用されている言語材料が、どのように中学校の文法項目と関連するのか明確な系統表はない。そのため、本学園英語部会においては、以下の指導法を共有することで、小学部と中学部との学びの連続性を図っている。

- ①クラスルームイングリッシュの徹底：英語によるあいさつ、指示、ほめ言葉など
- ②スピーチの工夫：ノンバーバルコミュニケーション（表情・視線・ジェスチャーなど）の指導、相互評価・自己評価の実施
- ③I C Tの活用：「ロイロノート」のプレゼンテーション機能を活用し、表現したい概念（考え方や気持ち）を可視化し、英語で伝え合う言語活動の補助資料とする。

(ア) 自分たちの町・地域のスピーチ (第6学年)

自分たちの住む町や地域に、どんな建物や施設があり、そこでは何が見られるのか、さらに、自分たちの町や地域に他にはどんな施設があつたら良いのかなどをスピーチする。スピーチを行う際は、相手に届く声、表情、目線を意識させる。

(イ) 東京紹介のスピーチ (第8学年)

自分たちが住んでいる東京都に目を向け、東京都ならではの観光地や文化、歴史などをスピーチで発表する。その際、小学部や中学部7年生で行つてきたスピーチの定型文を使用するだけでなく、新たに学んだスピーチに関する新出表現や文法なども加える。

(ウ) 世界の諸地域紹介のスピーチ (第9学年)

第8学年では自分たちが住む東京都の紹介をしたが、第9学年ではより規模を広げた世界の諸地域の紹介を行う。その際、既習の表現を使用するのはもとより、これまでの経験を生かし、どのようにしたら聴衆を引き付けられるか、どのようにしたら内容が充実するかを考えさせていく。

#### 4 本時 (6時間扱いの6時間目)

(1) I C T活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い合わせ
学習活動	見通しをもつ		多様な手段で説明する よさを共有する	
タブレット パソコン				

(2) 展開

学習活動・活動	・指導のポイント ★評価
<p>1 Greeting</p> <p>2 Song (CDプレイヤー)</p> <p>3 全体で今日の目標を確認する。</p> <p>外国人観光客に向けて、東京の魅力を発表しよう。</p> <p>4 本時の活動内容についての説明を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業開始前にタブレットパソコンを起動するよう声掛けをする。</li> <li>目標確認後、自己評価・感想用紙を配付する。</li> </ul>
<p>5 タブレットパソコンを使用し、発表リハーサルをする。</p> <p>6 タブレットパソコンを使用し、発表する。(1人 1分以上1分半未満)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアでリハーサルをし、最終確認をするよう声掛けをする。</li> </ul> <p>★発表のポイントを意識して、自ら設定したテーマを簡潔に発表することができる。(表現)</p>

7 自己評価シートに記入する。

- ・今後よりよい発表にするために、自身の発表を振り返らせる。<問い合わせ>
- ・改善点などを教師が全体に講評を行い、今回の成果や次回への課題を伝える。